

使用済燃料再処理・廃炉推進機構 第80回運営委員会 議事概要

- 1 開催日時 2025年1月23日(木) 9:30~12:00
- 2 開催場所 使用済燃料再処理・廃炉推進機構 会議室
- 3 出席委員 近藤駿介(委員長)、山口彰(委員長代理)、秋池玲子、井口哲夫、
小澤俊朗、織朱實、斉藤拓巳、佐久間総一郎、采田正之
出席理事 増田博武(理事長)、鴫田真孝(副理事長)、板垣雄士、出光一哉、
胡居宏明、河合雅彦、平島暁、水田仁
同席者 山上圭子(監事)

4 議事の経過及び結果

(1) 運営委員会の成立状況の確認

本日の運営委員会の出席者は17名であった。定款第11条第1項に定める運営委員会の成立要件である総数の過半数が出席しているため、本運営委員会が成立したことを確認した。

(2) 議案審議及び自由討議

【報告事項】

a. 使用済MOX燃料再処理実証研究の対応状況について

(電気事業連合会)

電気事業連合会から、使用済MOX燃料再処理実証研究に係る再処理契約の協議状況や、再処理の実運用を最適化する観点から取得データを充実させるために、実証研究の対象数量を変更することについて説明を受け、自由討議を行った。委員から、次のような意見があった。

- ・ 使用済MOX燃料再処理実証研究は非常に重要であり、実証研究の対象数量を増やしてデータを充実することは有益である。しっかり進めて欲しい。
- ・ 実証研究にあたっては、日本原燃や日本原子力研究開発機構と連携し、その成果を再処理施設やMOX燃料加工施設の実運用に活かせるように取り組んでほしい。
- ・ この実証研究の意義等については関係するステークホルダーに対して継続的に丁寧な説明を行ってほしい。

なお、報告内容のうち、口頭で説明のあった技術的な事項について、電気事業連合会に対しあらためて書面での提出を要請し、2/12に受領した。今後、実証研究の対象数量を変更した上で、機構が担う再処理等の委託に向けて具体的な契約協議及び検討を進めていくこととした。

b. 再処理事業等に関する実績確認について

事務局から、2024年度上期の再処理事業等の費用支出等に関する実績確認結果について報告を受けた。

(3) その他

委員長は、議事概要に記名押印する者として、委員長の他、山口委員長代理及び増田理事長の3名を指名したい旨を提案したところ、全員異議なく賛成した。

本運営委員会の議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事概要を作成し、前記3名は次のとおり記名押印する。

使用済燃料再処理・廃炉推進機構

運営委員会

委員長 近藤 駿介 印

委員長代理 山口 彰 印

理事長 増田 博武 印

以 上